

2021 年 3 月 13 日のダイヤ見直しについて

J R 九州では、これまで九州新幹線を中心とした交通ネットワークの充実を図るとともに、九州各地で地域のみなさまよりご協力をいただきながら、D & S 列車の運行や J R 九州ウォーキングの開催など、地域の活性化と鉄道の利用促進に努めてまいりました。

しかしながら、「令和 2 年 7 月豪雨」の被災に加え、新型コロナウイルス感染拡大に伴いお客さまのご利用状況が大幅に減少した結果、今年度の第 2 四半期連結決算は、営業収益が対前年 58.5%（対前年▲883 億円）と会社発足以来経験したことのない減収となるなど、非常に厳しい数字になりました。足元では、Go To キャンペーンの効果も一部にみられたものの、第 3 波が到来するなか、今後の人の動きや消費などの動向が新型コロナウイルス発生前の状態まですぐに戻ることは想定できない現状においては、「会社発足以来の危機」が引き続き継続すると言わざるをえません。

そこで、2021 年 3 月 13 日に予定しているダイヤの見直しにおいて、お客さまのご利用状況を十分に踏まえた上で、ご利用が減少している列車の本数や運転区間等についての見直しを行います。現在の交通ネットワークを維持するため、さらに効率よく運行を続けることができるよう、一部の線区で運行体系の見直しを行うこととしました。

今後も、これまでと同様に、日頃からお客さまの声や地域のみなさまからのご意見に耳を傾け、お客さまのご利用状況を日々確認し、時刻の修正や車両の増結、列車の増便や運転区間の延長等を柔軟に対応して、可能な限り列車ダイヤに反映させてまいります。

さらに、安全とサービスを基盤として、駅を中心としたまちづくりや、バリアフリー化によるご利用しやすい駅づくりなどを通して、鉄道の利用促進を図るとともに、このコロナ禍においてもお客さまに安心して鉄道をご利用していただけるよう鋭意努力してまいります。

2020 年 12 月 18 日

九州旅客鉄道株式会社

代表取締役社長執行役員 青柳 俊彦